



図書館と私の関係は大きく分けて四つの時期に区切ることができます。最初の時期は幼稚園から小学校に通っていた頃の関係で、図書館とは私にとって好きなお話しの本を自由に読むことのできる楽しい遊び場所でした。次は中学・高校時代で、この頃はいたって冷たい関係です。受験勉強で忙しい私はほとんど図書館に寄りつかないか、行ってもただ席を借りるだけで、図書館の資料はほとんど使ったことがありませんでした。三番目は大学時代です。この時期に私は本当の意味で図書館と出会ったといえましょう。ただ楽しみのために本を読むばかりでなく、本格的に調査をする必要がでてきて、レファレンス・ブックや雑誌論文、新聞記事、またデータベース等の資料を多角的に用いるようになったからです。そしてすっかり図書館の世界の面白さのとりことなった現在が第四期です。なんと今の私は「図書館はこんなに便利ですよ。もっと利用してください」と言って歩く図書館のセールス・レディーのようなものです。

(本文の各段落は最初の1文字をあけて始める。文字サイズは12ポイント)

(Project 1 : 作文 書式サンプル)